

公益社団法人日本水環境学会
地域水環境行政研究委員会

2023年度地域水環境行政研究委員会優秀発表賞

受賞者:

佐藤祐一（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）

発表演題:

ローカルSDGsの策定とその学術的評価～滋賀県・琵琶湖の
取組を例に～

発表概要:

滋賀県では、県民・市民らとの協働により、2021年に琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(Mother Lake Goals(MLGs))」を策定した。これは琵琶湖を切り口に持続可能な社会を目指す13のゴールにより構成される。ゴールを設定すればあわせて必要になるのが、その進捗管理である。SDGsでは17のゴールの下に169のターゲットおよびそれに紐づくグローバル指標が設定され、それに基づき世界および各国の状況が評価されている。本研究では、筆者らが進めているMLGsの学術的評価の特徴について、SDGsの評価との比較から記述するとともに、ローカルSDGsの策定とその学術的評価の意義について考察した。